

別府大学大学院文学研究科・食物栄養科学研究科主催講演会 およびシンポジウム開催報告

昨年（2019）11月9日（土）に別府大学大学院文学研究科・食物栄養科学研究科主催、別府大学アジア歴史文化研究所共催により、基調講演とシンポジウムが本学メディアホールにおいて開催された。概要は以下の通りである。

○テーマ「狩り－文学・歴史学・民俗学・食物栄養科学の視点から－」

基調講演：鳥獣対策とジビエ－食物連鎖に取り組む有効利用とは－
加藤礼識専任講師（食物栄養科学部発酵食品学科）

シンポジウム：司会・矢島潤平教授
（文学部人間関係学科／大学院文学研究科臨床心理学専攻）

▼ジビエ料理の魅力と課題

梅木美樹准教授（食物栄養科学部食物栄養学科／大学院食物栄養科学研究科食物栄養学専攻）

▼イギリス文学の狩り－『自負と偏見』の場合－

河野豊教授（文学部国際言語・文化学科／大学院文学研究科日本語・日本文学専攻）

▼神と狩りと肉喰

段上達雄教授（文学部史学・文化財学科／大学院文学研究科文化財学専攻）

▼古代ローマにおける狩猟

飯坂晃治准教授（文学部史学・文化財学科／大学院文学研究科歴史学専攻）

このように、本学大学院文学研究科・同大学院食物栄養科学研究科の両専攻に所属する専任教員による知の集合として、統一したテーマのもとにシンポジウムを開催できたことは有意義な機会であったと思われる。来年度も本学大学院文学研究科・同大学院食物栄養科学研究科の両専攻主催の講演とシンポジウムを予定している。

また、上記とは別に、昨年（2019）10月26日（土）に別府大学アジア歴史文化研究所主催、別府大学大学院文学研究科共催による講演会が本学メディアホールにおいて開催された。概要は以下の通りである。

○テーマ「『令和』の元号と『万葉集』」

講演：「令和」の元号と『万葉集』

浅野則子教授（文学部国際言語・文化学科／大学院文学研究科日本語・日本文学専攻）

講演：「元号」について－中国におけるその起源と展開－

宮崎聖明准教授（文学部史学・文化財学科）

この講演では、昨年、新しい元号「令和」に改元されたことから、「令和」の元号の出典となった『万葉集』との関係について、『万葉集』研究が専門の浅野則子教授が講演をし、中国近世史が専門の宮崎聖明准教授が「元号」について、中国におけるその起源と展開という視点から講演をした。新しい元号「令和」に関する講演ということで一般参加の聴講者も多く、関心の高さがうかがわれた。来年度は別府大学アジア歴史文化研究所主催の中国史関係のテーマの講演会を予定している。